



30年ぶりの新事実!!

国内初のネオパラドキシア、パレオパラドキシアと道東で共存した

日本からは多くの束柱類の化石が見つかっています。束柱類には、デスモスチルスの仲間からとパレオパラドキシアの仲間の2つのグループが知られています。今回の共同研究では、およそ30年前に釧路市阿寒町から発見された標本の再調査を行い、それらの化石の中に、パレオパラドキシアとネオパラドキシアが含まれていることが分かりました。ネオパラドキシアは日本国内からは初めての報告です。

同時に、束柱類の種多様性の変化についても調べました。その結果、デスモスチルスの仲間はおよそ2300万年前の寒冷期に多様化が進み、パレオパラドキシアの仲間はおよそ1500万年前の温暖期に多様化が進んだことが明らかになりました。さらに、その後の寒冷期には束柱類全体の種数が減り始め、しだいに絶滅に向かったことも分かりました。この結果は、束柱目の種数の変化が気候変動と連動していたことを示す初めての証拠です。

この研究は岡山理科大学と足寄動物化石博物館の共同研究として進められ、研究成果は、2025年7月31日付で国際学術誌 PeerJ で論文として出版されました。研究をまとめた浅井勇馬さんは今年4月筑波大学大学院に進学し、海の哺乳類の研究に取り組んでいます（この記事も浅井さんの協力によるものです）。博物館からは、安藤・澤村学芸員が共同研究に、新村学芸員が復元画の作成で参加しています。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよりの化石と自然

No. 169

2025年 12月10日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目

TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

(年4回発行)

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

研究成果 続々

クジラの研究も進んでいます。ここでは特に3D技術を生かしたクジラ研究への貢献をお知らせします。

新種クジラ

メガベリーナ・サッポロエンシスの研究：セミクジラ類の進化解明

札幌・豊平川で市民によって発見されたクジラ化石を10年以上にわたって調査した結果、新種のセミクジラであることがわかり、国際学術誌 *Palaeontologia Electronica* に論文が掲載されました。

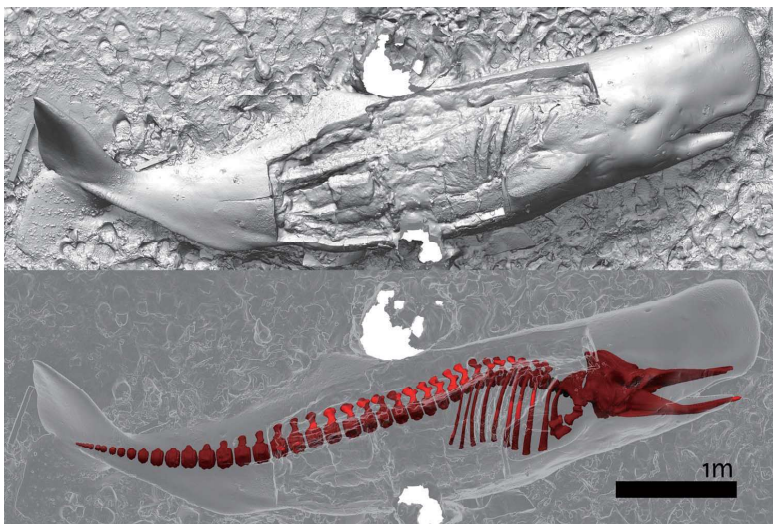
ヒゲクジラの仲間で独特の存在であるセミクジラ類の進化の空白を埋める重要な手がかりとなります。

札幌市の博物館活動センターとの共同研究です。このクジラ化石のクリーニングや展示、調査には博物館も初期から協力しており、共同研究には新村学芸員が参加しています。



メガベリーナ・サッポロエンシスの復元画 新村学芸員による

マッコウクジラの肩甲骨は頸椎のあたりに位置することを確認



新村学芸員の研究により、マッコウクジラの肩甲骨の位置が明らかになりました。北海道浦幌の海岸に漂着したマッコウクジラを3Dモデル化し、他のマッコウクジラの骨格標本と比較したところ、肩甲骨が頸椎の外側＝骨格としてはクビの位置にあるということが明らかになりました。

クジラの骨格では、肩甲骨の位置がよくわかっていない例が多く、博物館の展示でも陸上動物のように胸の位置に肩甲骨を配置したものが多く見られます。この研究成果は、クジラという生き物の体の構造を知るうえで重要な成果であり、博物館の展示にとっても大きな貢献となるものです。この論文は、日本セトロロジー研究という学術誌で出版されました。

令和8年 午年うまどしの石みがき 午年の石・・・そりゃメノウ 漢字だと瑪瑙

北海道からは各地で瑪瑙が産出します。デスモスチルス全身骨格が見つかった**歌登**には、「枝幸瑪瑙」として採掘され山梨県甲府に出荷された歴史があります。**足寄**も、知る人ぞ知るメノウ（玉髄）の産地。少ないながらオッとおもうものもありますよ。**両地**のメノウを提供します。

世界各地からはさまざまなメノウが産出します。目を見張るものから地味にきれいなものまで。さまざまなメノウを玉（たからもの）してください。

お正月：北海道メノウ（**山のメノウ**）のアクセサリー磨きと
海岸で採取した**小粒のメノウ**のミニ発掘セット(1500円)
小粒メノウは スマホのライトの上において「ランプ」になる

一年中：北海道メノウ(1000円) と世界のメノウ(写真1500円) の
アクセサリー磨き



磨かれたさまざまな色・模様・形のメノウ

アショロア発見から 50年

167号で、「**アショロアはどこまでわかったか 50年をふりかえる①**」との見出しで、発見の経緯を掲載し始めました。その後の内容は多岐にわたります。

1976年の発掘後の標本の所在のこと、基本的な特徴の把握、なにを食べたかの化学的研究、骨の構造の比較、陸上生活か海での生活かの決断、博物館に収蔵されている化石に関する研究の進展、そういった進展を反映した博物館展示の更新、などなど、内容だけでなく分量も考慮して、博物館だよりとは別の形でお知らせすることにしました（博物館だよりでもその一部は引き続きお知らせしていくつもりです）。

発見以来 50年。化石の環境も博物館の社会的位置づけも大きく変わりました。博物館の「これまで」を振り返ることで、博物館の「これから」を考えていくカギにしたいと考えています。アショロアの発見は「夏」。あつい中身をお楽しみに！

冬の博物館 UVレジンクラフト

2026年1月5日～12日（6日は休館日）

時間：10：30～

13：30～

人数：各回10名まで

（同伴の保護者含む）

年齢：小学四年生以上（三年生以下の参加者には同じ人数の保護者の同伴が必要）

予約：事前予約（当日でも可）

申込み：来館時、または電話での申込み

費用：かんたんコース 300円

大人コース（経験者のみ） 500円

（当日受付でお支払い）

※ 参加には「入館」が必要です

新年は5日（月）
開館です

6日（火）は休館します



作品例

冬の博物館「MR ミニ体験」実験企画



イメージ画像

2026年1月5日～12日（6日は休館日）

体験場所：足寄動物化石博物館デスモホール

時間：11時～、13時～、14時～、15時～

予約：当日受付にて

人数：同時プレイ2人まで

対象：小学5年生以上

体験時間：15分程度

料金：入館者無料（他の化石体験や展示室への入室には「入館」が必要です）

注意事項！

①体に装着して使用するため、装着に不安がある方は体験をご遠慮ください。

②対象は小学5年生以上です。

（ゴーグルのサイズ、操作の必要性、そして安全確認のため、このように定めています。）

③機器トラブルなどにより、当日実施できない場合があります。

あらかじめご了承ください。

MRゴーグルを活用した展示は、まだ新しい試みであり、まだ改良の余地があります。その点をご理解の上お楽しみください。

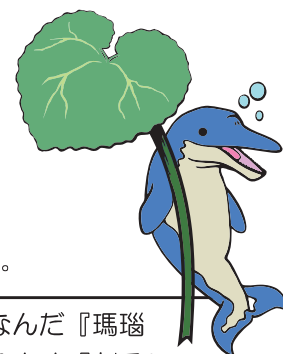
足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月28日から）・年始（1月4日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。

※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



紙面に書ききれませんでしたが、毎年恒例の「新春ミニ発掘！」にも 干支にちなんだ『珊瑚（メノウ）セット』が登場します。また、『冬の水晶セット』や、大きな水晶を取り出す『割るミニ発掘』も登場します。お楽しみに！